

P T A活動記録

せっかく学校HPがリニューアルし、素敵なP T Aのページを作っていただいたので、P T A会長の活動記録（のような雑感…）をアップしていきたいと思います。よろしくお願いします！

6月27日、全知Pの年次総会に行ってきました！

そもそも、全知Pって何？と思われる方も多いと思いますが、「全国特別支援学校知的障害教育校P T A連合会」（ながっ）の略なんですね。伊奈特は特別支援学校の中でも「知的障害教育校」なので、この全知Pの末端組織に当たるわけです。細かくお話ししますと、伊奈特は、まず茨知P（茨城県特別支援学校知的障害教育校P T A連絡協議会）の一員であり、茨知Pは関知P（関東甲信越地区特別支援学校知的障害教育校P T A連合会）に属していて、その全てを束ねるのが、この全知Pなのです。

そして特別支援教育学校は、知的障害教育校だけではありませんよね。肢体不自由教育校や盲学校、聾学校などあらゆる特別支援学校のP T Aの集まりである、「茨城県特別支援学校P T A連絡協議会」（略称・特P）という団体もあり、もちろん伊奈特もここに属しています。

というわけで、色んな会合に出席する必要がある（実際、全知Pよりも前に6月4日に特Pの、12日には茨知Pの第一回理事会に行ってきました）のですが、「今度P T Aの出張で〇〇に行くの。きっと晩御飯は手抜きになっちゃうけどよろしくね」と家族に言うと、「何の会合？」「えーっと、茨知Pだっけ特Pだっけ…」「何それ？」「茨知Pがあって関知Pがあって全知Pがあるのね…。それとは別に知的に限らない特Pってのもあって…」「レディースの集会みたいだね、声だし気合い入れて頑張ってるね～」と言われてしまう始末です…。

話を元に戻して全知Pの総会ですが、全国から参加者が集まるため、交通の便のいい浜松町の世界貿易センタービルで開催されました。今年はとーっても眺めのいい38階のゴージャスな会議室が会場でした。毎年思うのですが、私なんて単位P T Aの会長を務めるだけでもてんでこ舞いなのに、全知Pの役員さんはどんなに大変だろうかと、皆さんの献身にただただ頭が下がるばかりです。文科省の方々が来賓でいらして、今年度特別支援教育には昨年を大幅に上回る予算が付きました！とおっしゃっていましたが、日々の子育ての中でそれを実感できるのはいつのことになるのかなぁと遠い目になってしまいました。

総会後の研修会は、岡山県立盲学校の竹内昌彦先生の講演でした。知的障害教育校のP T A向けになぜに盲学校の先生？と始まる前は首を傾げていたのですが、この講演が本当に感動的でした！！先生はご自身も幼少期の病気のため全盲になり、大変なご苦労

の末に盲学校の教師になられた方です。脳性麻痺という重い障害のあるご長男が7歳の時に肺炎で亡くなるという、親として最大の悲しみも経験されています。会場では男性の参加者も涙をボロボロ流して聞いていました。かく言う私も、講演終了後は厚化粧が全て落ちて、他校の知り合いの会長さんに「どなたでしたっけ？」と聞かれるほどでした…。

竹内先生の支えになったのは愛情いっぱいの家庭と素晴らしい先生との出会い、そして温かい地域の方々からの励ましだったそうです。私たち保護者が子どもにしてやれることを、簡潔にまとめて次のようにおっしゃっていました。①自分の子どもの実力・障害を正しく認識してその子にとって最良の環境を与える②出来ないことがあるのを嘆くのではなく、その子の得意なところを生かして伸ばす③家庭は子どもの自己肯定感を育てるところ、心から「ありがとう」と声を掛け、愛され必要とされている存在であることを実感させる④障害を辛いものにするのは人間、親が元気を出すのが一番大切。ご自身が障害者であり、同時に障害児の親でもある先生ならではのアドバイスだと思いました。あまりに感動したので、先生の著書を即購入しました！ぜひ多くの方に読んでいただきたいと思いますので、興味を持たれた方はいつでもご連絡くださいね。喜んでお貸しします！

本部役員をやらせていただいている、本当にありがたいなあと思う瞬間は多々あるのですが、このように素晴らしい講演を聞かせていただいた時にもしみじみそう思います。今年は特P・茨知Pの理事会後の講演もとても良かったので、そこで得た感動を原動力にして、もっともっとPTA活動を頑張っていきたいと思っています！ご協力よろしくお願いします。（PTA会長）